

平成28年度 テーマ別環境講座（第1回） 実施報告

「東京湾の生き物を観察してみよう！～東京湾の干潟で生物多様性を考える～」

平成28年6月

公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所

平成28年度 テーマ別環境講座（第1回） 実施報告

「東京湾の生き物を観察してみよう！～東京湾の干潟で生物多様性を考える～」

□実施日 平成28年6月6日(月)、7日(火) 全2日間

□受講者数 定員50名、受講申込者 48名 受講決定者 48名

□実施内容

【第1日目（6月6日 月曜日 13時30分から）】

講義 （出席者数 37名）

（東京都庁第二本庁舎10階207、208会議室）

○挨拶等

- ・事務局（研究所）から受講上の注意、資料確認、全体スケジュール等
- ・環境局環境政策課企画調整担当 中西課長代理より開講挨拶及び本講座の目的等について

○講義

☆「東京湾に生息する水生生物について」

（講師）東京都環境科学研究所 環境資源研究科主任 橋本 旬也

（講義内容概略）

- ・東京湾の定義から、東京湾及びその流域の説明、東京の海域に流入する河川の水質改善状況と水質検査の推移、赤潮、青潮の発生メカニズム、溶存酸素と生物の出現率などのデータを元に説明した。
- ・葛西人工渚や底引き網での成魚調査の状況、護岸に付着した生物の調査などを元に在来生物と外来生物の割合などを説明した。



☆「東京の海辺—干潟の環境と生態系」

（講師）東京都環境科学研究所 環境資源研究科主任 石井 裕一

（講義内容概略）

- 東京湾沿岸部（干潟・浅場）の変遷
人工衛星から見た東京湾、失われた干潟・浅場、東京都内湾海域の変貌、東京の干潟などを、写真を元に説明した。
- 干潟とそれを取り巻く環境
干潟の種類、干潟の地形、砂れん、潮溜り、滞筋、潮周りと満ち引き、夏の潮汐と冬の潮汐、潮間帯などを、図やグラフを元に説明した。
- 生態系と生物多様性
干潟の生物、生態系とは、物質循環とエネルギー流、生産者(光合成能力をもつ植物)・消費者(生産者の生産した有機物を利用する動物群)・分解者(死んだ生物体や排出物を分解する生物群)、干潟の役割などを、写真やグラフを元に説明した。
- 明日のフィールドワークの説明



○事務局（研究所）からの2日目の現地視察に関する注意事項、事務連絡後、終了。解散。

平成28年度 テーマ別環境講座（第1回） 実施報告

【第2日目（6月7日 火曜日 9時30分から）】

現地視察（フィールドワーク）（出席者数 35名）

葛西海浜公園西なぎさ、葛西臨海公園ウォッチングセンター、葛西臨海水族園

講師

株式会社日本海洋生物研究所 グループ長 中西 敏之 氏、首席研究員 小松 伸行 氏
研究員 新井 功 氏、 研究員 新井 宏明 氏

【葛西臨海公園駅前集合場所で出席者の確認】



【葛西海浜公園到着後胴長靴に履き替え】



【本日の講師を紹介】

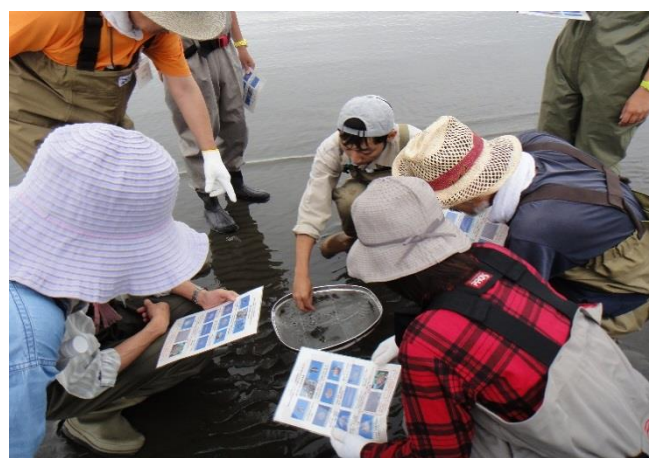


【グループに分かれ作業の説明】



【西なぎさでの水生生物を採取】

—受講生は皆さん楽しそうに作業をしていました。—



平成28年度 テーマ別環境講座（第1回） 実施報告

【ウォッチングセンターに移動して、採取した生物を分類し、講師が解説】

—採取した生物の分類を皆さん真剣に取り組んでいました。—



平成28年度 テーマ別環境講座（第1回） 実施報告

【葛西水族園で干潟の生き物の話を聞き、水族園内の見学をする】

—水族園の職員の説明を受け、理解を深めた後、水族園内の見学では目を輝かせて水槽内を見ていました。—

